

## 町の看板商品の創出 福智町観光庁事業



町の観光資源を活用した  
魅力発信と知名度向上の  
モニターツアーを実施

**持続可能な観光の推進  
文化・経済を守り育む**

福智町では、町の伝統・文化の魅力発信と知名度向上とともに看板商品の創出、将来的なインバウンドを見据えた、町の持続可能な観光の推進に取り組んでいます。そこで、400年以上の歴史を誇る国指定伝統的工芸品「上野焼」や「ふれあい塾」を活用したツアー造成を目指し、モニターツアーを11月2日に行いました。



① 登り窯の説明をする渡瀬・渡仁さん。  
②③ 湯飲みやお皿など作陶(ろくろ)体験に集中。  
④ ふくち案内人・吉本さんが上野焼の説明。  
⑤⑥ ふれあい塾で上野焼の器で味わう青空レストラン。(田舎野菜のコンソメすいとん仕立て)  
⑦ ローストビーフのトリュフソース

福智町観光ガイド「ふくち案内人」による町や上野焼などの説明のもと、上野焼窯元・渡瀬を見学し、作陶(ろくろ)体験やお茶会体験を実施。ふれあい塾に移動後、炭火・鉄板焼ステーキ&ハンバーグくずはらの協力で、上野焼の器で味わう特別ランチコースを提供しました。

町の観光資源を最大限に活用し、地域の文化・経済を守り育む。課題はありますが、上野焼の魅力や歴史は確かな手応えを感じました。

## 持続可能な福智町の 提言発表会 方城中学校



総合的な学習の一環で  
パソコンソフトを駆使し  
福智町のSDGsを考える

**住み続けられる故郷を  
若者の視点で考える**

「自分で課題を発見する力、情報の収集・発信する力、仲間と協力する力」など生徒が未来で活躍するために欠かせない力の育成に取り組んでいる方城中学校。そこで、方城中3年生はSDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」をテーマに、各クラス5班に分かれ、福智町を持続可能にするためのアイデアを1



①② 緊張しながらも堂々と提言を発表した生徒たち。  
③ 仲間たちの提言に耳を傾け、真剣に話を聞く生徒たち。  
④ 行政職員が生徒たちの提言に対し、町の考え方や取り組みを丁寧に回答。  
⑤ 福智町防災アドバイザー・高木さんが会社の活動やSDGsに取り組む事例を紹介。

か月間熟考。9月30日に行行政職員など多くの関係者の前で提言を発表しました。

3年1組は「人が集まる町、ごみの少ない町、健康安全な町」など多くの視点から持続可能にする方法を発表。3年2組はより具体的にコストやSNSを使った情報発信などを提言しました。

SDGsに真剣に向き合っている、大人も知らないデータやユニークな発想を出す生徒たち。考え、学ぶことがSDGs達成への第一歩になります。

## SDGsの主人公は 私たち

普段の何気ない生活の中でもSDGsの達成につながる意識・行動はたくさんあります。できることからやってみましょう。

### すぐに行動できること

- マイバッグやマイボトルを活用する ●ペットボトルの分別 ●節水・節電をする ●地元の食材を購入する
- オンライン決済サービスを利用する ●冷房や暖房の設定温度を意識する ●認証マークがついた商品を選ぶ
- 環境に配慮した製品やサービスを利用する ●食品ロスを減らす ●できるだけ公共交通機関を利用する

### 未開封の食品を寄付する

福智町社会福祉協議会が「フードバンク」を行っており、企業や家庭などに捨ててしまう未開封の食品の寄付を受け付けています。例) 米、缶詰、乾物、飲料など 受付場所▶福智町社会福祉協議会 ☎22-6631

### インターネットで調べる

- 日本ユニセフ協会 「SDGs CLUB」
- 外務省 「JAPAN SDGs Action Platform」
- 国際連合広報センター 「持続可能な開発」
- JICA地球ひろば 「SDGs(持続可能な開発目標)を学べる教材」

### 本で学ぶ

図書館・歴史資料館「ふくちのち」で、SDGsに関する書籍を無料で借りることができます。

- すぐにできることからがんばってしよう子どもSDGs みきつきみ/著 (弘文堂)
- SDGsの基礎 白田範史/編 (事業構想大学院大学出版部)
- 知っていますか? SDGs 日本ユニセフ協会/制作協力 (さ・え・ら書房)

## 温かい食事とお風呂を提供 全国的にも珍しい天然温泉 での子ども食堂がオープン

## 温泉 de 子ども食堂 天然温泉 日王の湯



### コラボ企画

母子支援施設くぬぎの里主催「フードパントリー」  
第9回「温泉 de 子ども食堂」では母子支援施設くぬぎの里主催の「フードパントリー」とコラボ。くぬぎの里は、寄付された食料品や日用品、衣服などを無料配布しています。(不定期で実施)  
←(左下)が第9回温泉 de 子ども食堂と合同で行った「フードパントリー」。「支援する」という同じ思いでコラボが決定。

**温泉施設の強み生かし  
あたたかな居場所作り**

温泉 de 子ども食堂は、その名の通り「天然温泉 日王の湯」が温泉施設の強みを生かし、地域の子どもたちに温かい食事とお風呂を提供したいという思いから始めました。昨年12月7日に第1回を開き、11月で10回目を迎えました。現在、福智町近隣の小・中学生およびその保護者を対象に毎月第2火曜に開催。天然温泉を楽しむ



天然温泉 日王の湯 支配人 大塚秀樹

んだのち、特製のカレーライスを無料で提供しています。日王の湯は、子どもたちの居場所や地域の皆さまとのにぎわいを楽しみ、子どもたちが自然と笑顔になれる子ども食堂を目指しています。また、つながりを作ることで、小学校や中学校をまたいだ友達を作ってくれるとうれしく思います。